

文化財情報基盤の整備・ホームページの運用 (③企06-11-1/5)

目 的

文化財関係の情報を収集して積極的に発信するため、ネットワークのセキュリティの強化及び高速化等に対応した情報基盤の整備・充実を図り、システム面から文化財に関する専門的アーカイブの拡充、データベースの充実を支援する。

成 果

1. 情報システムの整備

情報システムの整備については、広報委員会のLAN委員、各部・センターのLAN担当で検討のうえで実施している。

(1) ネットワーク機器の更新：平成23年度にハードウェア保守の期限が切れるネットワーク機器を更新した。具体的には、プロキシサーバ、DNS/Webサーバおよびネットワーク/サーバ機器管理システムである。このうち、プロキシサーバの更新は当初計画どおりの実施であるが、節約により、保守期限切れが迫っていた後2者についても前倒しで更新を行った。(2) ネットワーク機器の新設：グループウェアへの遠隔地からのアクセスを可能とするために、セキュリティが確保された形での接続が可能なVPNシステムを導入した。(3) ネットワークセキュリティの向上：ウィルス対策として、2種類のウィルス駆除ソフトウェア（Kaspersky Anti-VirusおよびESET NOD32）を各125ライセンス（所内のコンピュータ台数のおよそ半数ずつ）導入し、全てのコンピュータが一斉に不具合を引き起こさないような工夫を行っている。

2. ホームページの運用

研究所全体の広報、研究情報の発信としてホームページの運用を行っている。各部・センターのページは各担当者が個別に管理しているが、行事案内や出版物情報は研究所トップで周知するなど利便性向上を図っている。

(1) リニューアル：ホームページのレイアウトを変更し、各種の情報へのアクセスの利便性を向上させた。また、「東京文化財研究所概要」に基づいて情報を調査研究項目や部門ごとに整理し、業務紹介のページを作成した。(2) データ集、データベースの更新・掲載：ホームページではこれまで蓄積・整理された各種のデータ、データベースの公開を行っている。平成23年度は、2011年までに刊行された東京文化財研究所の刊行物（図書）のデータを掲載した。また、『日本美術年鑑』（当研究所刊行）所載美術界年史（彙報）について、1935年から1969年までを入力し、公開した。このほか、「黒田の筆触に迫る一作品のタッチから見えるもの」など画像による情報発信も実施した。(3) 定期・不定期の情報更新：各部・センターの調査研究その他の活動について、日本語および英語により「活動報告」として毎月掲載した。研究会開催や職員募集、入札公告などの情報は、依頼に応じて掲載した。(4) メールマガジン送信：ホームページ更新情報を直接発信するため、メールマガジンの送信を随時行った。(5) アクセス数：ホームページのアクセス（訪問者数）は1,314,541件で、前年度に比べ約17万4千件減少した。黒田記念館へのアクセスが前年と比べ大きく減り、他は微減あるいは増加しているため、震災や黒田記念館の長期閉館などの理由が考えられる。またリンク切れを整理し、効率的にアクセスするようになったことも影響していると思われる。

3. 東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援事業（文化財レスキュー事業）への対応

文化財レスキュー事業の事務局が当研究所に設置されたことに伴い、事務局、構成団体などのメールリストを整備し、関係者間の連絡や活動日報など必要な情報共有について利便性の向上を図った。また、ホームページを通じて活動の概要や活動内容の広報を行うとともに、被災文化財の応急処置や適切な扱い方など、技術的な情報を提供した。

③資料作成・公開 Area13,20

ホームページの主な更新履歴（定期刊行物、活動報告、公募情報を除く）

11.04.27	東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援事業ページ 設置	東京文化財研究所
11.05.02	パネル展示「無形文化遺産の記録」掲載	無形文化遺産部
11.05.09	特集陳列「海外の日本美術品の修復」開催案内	東京文化財研究所
11.06.20	第35回文化財の保存と修復に関する国際研究集会 開催案内	無形文化遺産部
11.06.27	被災文化財レスキュー事業実施状況 掲載	救援委員会
11.07.05	黒田の筆触に迫る一作品のタッチから見えるもの一掲載	企画情報部
11.08.11	黒田清輝関係文献目録『黒田清輝著述集』PDF版公開	〃
11.09.22	国際シンポジウム「文化遺産を危機から救え～緊急保存の現場から～」開催案内	コンソーシアム
11.09.29	第45回オープンレクチャー 開催案内	企画情報部
11.09.29	第6回東京文化財研究所無形文化遺産部公開学術講座 開催案内	無形文化遺産部
11.10.20	国際シンポジウム「大仏破壊から10年 世界遺産パーミヤーン遺跡の現状と未来」開催案内	文化遺産国際協力センター
11.11.07	第6回無形民俗文化財研究協議会 開催案内	無形文化遺産部
11.12.15	東京文化財研究所の刊行物（図書）1997-2011年分 追加	企画情報部
12.01.12	黒田清輝展巡回記録 更新	黒田記念館
12.01.23	黒田清輝作品一覧 更新	〃
12.01.25	『日本美術年鑑』 所載美術界年史（彙報）1935年～ 公開	企画情報部
12.02.01	「文化財の保存環境を考慮した博物館の省エネ化」に関する研究会 開催案内	保存修復科学センター
12.02.03	第25回近代の文化遺産の保存と修復に関する研究会 開催案内	〃
12.02.06	メラニー・トレーデ氏講演会 開催案内	企画情報部
12.02.06	イリーナ・ボコバ ユネスコ事務局長講演会 開催案内	コンソーシアム
12.02.20	平成23年度総会及び第10回研究会「文化遺産保護の国際動向」開催案内	〃
12.02.20	研究会「アルメニア歴史博物館における文化財保存修復に関する交流事業」開催案内	文化遺産国際協力センター
12.03.01	研究会「キルギス共和国の文化遺産」開催案内	〃
12.03.01	黒田記念館巡回展 開催案内	黒田記念館
12.03.12	ユベール・ギメ氏来日記念講演会 開催案内	企画情報部
12.03.16	パネル展示「東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会 この1年」掲載	東京文化財研究所

アクセスランキング

1	全体index	6	黒田記念館全体
2	黒田記念館資料編（日記、書簡、作品一覧等）	7	『日本美術年鑑』 所載物故記事
3	文献目録、資料閲覧室、データベース等	8	文化遺産国際協力センター日本語
4	保存科学PDF	9	無形文化遺産研究報告PDF
5	東文研日本語	10	黒田清輝の生涯と芸術

研究組織

○二神葉子、田中淳、津田徹英、塩谷純、山梨絵美子、綿田稔、江村知子、小林達朗、皿井舞、城野誠治、中村節子、中村明子、井上さやか、鳥光美佳子（以上、企画情報部）、広報委員（LAN）：川野邊渉、各部門LAN担当：崎部剛（研究支援推進部）、綿田稔、（企画情報部）、飯島満（無形文化遺産部）、森井順之（保存修復科学センター）、加藤雅人（文化遺産国際協力センター）